

新型コロナワクチン接種について

Ver.1

一般社団法人日本アレルギー学会

1) 日本アレルギー学会として、ワクチン接種を推奨します。

全般的に見て、ワクチン接種により得られる感染予防効果と、起こりうる有害事象のリスクを比較すると、接種で得られる効果のほうがはるかに大きいと考えます。

- ・ 海外からの報告ではワクチンの 2 回接種は、デルタ株など多くの変異株に対しても重症化を阻止する効果が報告されています。
- ・ 国内外で、注意深い調査が行われていますが、ワクチン接種が原因で、何らかの病気による死亡者数が増えるという知見は得られていません。
- ・ 海外の調査によれば、接種を受けた方に、流産は増えていません。

2) アレルギー疾患の患者さんについても、ほとんどの方でワクチン接種は可能です。

気管支ぜんそくの患者さんも接種が可能です。ぜんそくのコントロールが不良な状態で新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクが他の人より高いとする報告があるため、ぜんそくの治療等で通院・入院されている方は、「基礎疾患を有する者」として優先接種の対象となっています。

- ・ 稀ではありますが、ワクチン接種後に軽いぜんそく発作を起こすとする報告があるため、医師から処方された薬剤の吸入・内服を日頃から確実にいき、接種前に体調を整えておくことをお勧めします。

食物アレルギーやアトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎などのぜんそく以外のアレルギー疾患の方も、接種が可能です。また、多くの食物や薬剤など接種するワクチン成分以外のものに対してアレルギーを持つ方も接種は可能です。

- ・ ただし、接種直後に体調が悪くなったときに速やかに対応ができるよう、接種後は通常より長く(30 分間)接種会場で待機して、変化が起きないかの観察を行います。

3) こういう人は接種を慎重に判断すべきと考えます。

過去に新型コロナワクチン(mRNA ワクチン)に対してアナフィラキシーなど重いアレルギー反応を起こした方や、同ワクチンに含まれるポリエチレングリコール(PEG、※1)に対して重いアレルギー反応を起こしたことがある方への接種は推奨しません。また、PEG に似た構造を持つポリソルベート(※2)に対して重いアレルギー反応を起こしたことがある方への接種は、専門医による適切な評価と重いアレルギー反応が発症した時の十分な対応ができる体制のもとに限り接種を考慮すべきと考えます。

- ・ (※1) 日本で承認されているポリエチレングリコールを含むワクチンは、ファイザー社の新型コロナワクチンと武田/モデルナ社の新型コロナワクチンです。ポリエチレングリコールは、一般に、病院で腸内検査をする際に用いる腸管洗浄剤の主成分であり、また、飲み薬や塗り薬、目薬等の添加物としても用いられます。医薬品以外では、ヘアケア製品や歯磨き粉等の医薬部外品に用いられており、保湿等を目的として化粧品にも含まれています。
- ・ (※2)ポリソルベートも、医薬品の他、乳化剤などの食品添加物として様々な食品に用いられています。日本で既に承認されたポリソルベートを含んでいるワクチンは、沈降 13 価肺炎球菌結合型ワクチン(プレベナー13)、インフルエンザ HA ワクチン「第一三共」、組換え沈降 4 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(ガーダシル)、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン(エンセバック)、5 価経口弱毒生ロタウイルスワクチン(ロタテック)、不活化ポリオワクチン(イモバックス)など複数存在します。
- ・ ただし、ポリエチレングリコールやポリソルベートを含む製品が原因でアレルギー反応を起こしても、必ずしもポリエチレングリコールまたはポリソルベートそのものがアレルギー反応の原因とは限りません。ご心配な場合には、かかりつけ医やアレルギー専門医にご相談ください。

<より詳しい情報を知りたい方は>

- ・ 厚生労働省ホームページより 「新型コロナワクチン Q&A」
 - <https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>
- ・ NHK 特設サイト 「新型コロナウイルス」
「新型コロナワクチン情報一覧」より Q&A 一覧
 - <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/>